

第1次答申で示された（仮称）芭蕉翁記念館建設候補地の概要

○建設候補地A：市役所北庁舎跡

- 住所：上野丸之内 116 番地
- 面積：3,254.6 m²
- 用途地域：第二種住居地域[建蔽率 60%/容積率 200%]
用途制限なし
- 上野公園口から：70m、徒歩 1 分
- 芭蕉生家から：600m、徒歩 6 分
- 考察
- ・上野公園、だんじり会館など関連施設との周遊が図れ、上野市駅やバスターミナルに近接し、アクセス性にもっとも優れる。伊賀市内外からの来場者の動線も良好である。
- ・現在審議中の庁舎整備計画検討委員会での答申内容を含めて、伊賀市の関係機関との整合性を図ることが必要であり、記念館独自の計画を進めることができるかが課題となる。



○建設候補地B：桃青中学校跡

- 住所：上野丸之内 117 番地 14
- 面積：12,480 m²
- 用途地域：第一種中高層住居専用地域
[建蔽率 60%容積率 200%] 用途制限あり
- 上野公園口から：450m、徒歩 6 分
- 芭蕉生家から：800m、徒歩 9 分
- 考察
- ・建設候補地として最大級の面積が確保されるため、充実した施設を望むことができ、より個性的で特徴ある活動を展開することが見込めるため、自由度の高い設計が可能である。
- ・敷地内に専用駐車場を整備可能。
- ・関連施設との周遊性が乏しくアクセスのための配慮が必要である。
(エスカレーター設置や土地の掘り下げを行うとなると、多額の費用が必要となり維持費も発生する。エスカレーター設置概算費用：約1億円、掘り下げ費用：約2億3,300万円)
- ・用途地域での制限があるため、用途地域の変更または建築基準法第48条許可を得ない限り、建築が出来ない場所である。これらの協議に相当の時間を要するとともに、場合によっては建築に向けた解決はかれないという怖れも否定できない。



○建設候補地C：上野図書館

- 住所：上野丸之内 40 番 5
- 面積：1,808.25 m²
- 用途地域：商業地域[建蔽率 80%容積率 400%]
用途制限なし
- 上野公園口から：550m、徒歩 6 分
- 芭蕉生家から：300m、徒歩 3 分
- 考察
- ・上野市駅やバスターミナルに程近く、アクセス性に優れる。同時に芭蕉翁生家、様々園、愛染院、菅原神社等に近いため伊賀市全体における芭蕉ゾーンの中核施設として位置づけることに適している。
- ・用地が狭小であることから、十分な施設・設備の面積の確保とともに、駐車場の整備のために、周辺の土地利用を併せて考えることが必要である。



- ・現在庁内において図書館の整備のあり方について検討されており、それとの整合性を図ることが必要となるが、極力新記念館事業に遅れを生じさせない配慮が必要である。
- ・既存の建物を活用することの可能性もあり、かなりの予算縮減を図ることが期待できる。
- ・かりに新築ということではなく、既存の建物を改築もしくは修復して利用となった場合、芭蕉翁記念館にふさわしい外装・内装を考慮する必要がある。

【参考】

- ・(現) 芭蕉翁記念館諸室床面積

機能	部屋名	床面積 (㎡)
展示	展示室	79.38
収集・保存	収蔵室	30.68
管理運営	事務室	34.02
	応接室 (館長室)	28.23
	和室	9.72
その他共用	物置	6.48
	トイレ、ロビー、廊下等	137.52
別館	茶室、和室	98.9
合計		424.93

- ・(仮称) 芭蕉翁記念館基本計画 (桃青中学校跡想定) における新記念館諸室床面積

機能	部屋名	床面積 (㎡)
展示	展示室	480
	展示準備室	30
交流・発信	セミナー室	230
	ライブラリ・情報スペース等	260
調査・研究	学芸員室	60
収集・保存	収蔵庫	200
	書庫等	130
管理運営	事務室	50
	館長室・応接室等	50
共用・サービス	エントランスホール、ショップ等	210
その他共用	機械室、倉庫、廊下、トイレ等	450
合計		2,150

- ・(現) 上野図書館諸室床面積内訳

- 1階 658.39 ㎡ (開架貸出室 501 ㎡、書庫 23.1 ㎡、倉庫 31.3 ㎡等)
- 2階 921.19 ㎡ (学習室 65.6 ㎡、参考図書室 147.3 ㎡、視聴覚室 98 ㎡、書庫 247.2 ㎡、貴重資料庫 32.8 ㎡、事務室・作業室 55.2 ㎡、郷土資料室 28.4 ㎡、特別閲覧室 15.1 ㎡等)
- 3階 99 ㎡ (機械室) 総延床面積 1678.58 ㎡